





<b>領收控 兼 払込取扱票</b>		<b>国庫金</b>	<b>告</b>
年度	通知番号		
(氏名) 股 限 有 限 公 司			
元 本	円	当年度 月1日以前年度繰入金額	
利 息		一般会計	
延滞金		(取扱い名)	取締役主権
合計額	円	納付目的	
		証券受領	
		全額 一般	内証券受領
		円	円
上記の旨社額を領収しました。			
(領収年月日及び領収者名)			

  

<b>払込取扱票</b>		
年度	通知番号	
(氏名) 股 限 有 限 公 司		
元 本	円	当年度 月1日以前年度繰入金額
利 息		一般会計
延滞金		(取扱い名)
合計額	円	納付目的
		証券受領
		全額 一般
		円
上記の旨社額を領収しました。		
(受託者名及び受託日付)		

  

<b>領収証券 兼 払込金受領証</b>		<b>国庫金</b>
年度	通知番号	
(氏名) 股 限 有 限 公 司		
元 本	円	当年度 月1日以前年度繰入金額
利 息		一般会計
延滞金		(取扱い名)
合計額	円	納付目的
		証券受領
		全額 一般
		円
上記の旨社額を領収しました。		
(領収年月日及び領収者名)		

<p>1 延滞金の計算方法</p> <p>(元本金額)×延滞金利率×延滞金起算日から納付の日の前日までの日数)÷365=納付すべき延滞金額          ただし、既発生延滞金額に延滞金額が記載されているときは、当該延滞金額との合計額が納付すべき延滞金額となります。</p> <p>(注) 納付すべき延滞金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てて下さい。</p>	<p>2 充当順序</p> <p>延滞金を支払わなければならない場合において、領収した金額が元本及び支払われるべき延滞金の合計額に不足するときは、その金額を延滞金、元本の順に充当します。</p>
--	---

備考

- 1 用紙の寸法は、各片ともおおむね縦11cm、横21cmとする。
- 2 別紙第4号書式の備考4、14、15及び16は本書式に準用する。この場合において、別紙第4号書式の備考4中「取扱庁名欄の番号」とあるのは「取扱庁番号欄」と読み替えるものとする。
- 3 納入告知書として使用するときには「納入告知書」の文字を、納付書として使用するときには「納付書」の文字を記載するものとする。
- 4 納入者に本書式に係る納付情報により納付させようとするときは、当該納付に必要な事項を記載すること。
- 5 必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の調整を加えることができる。